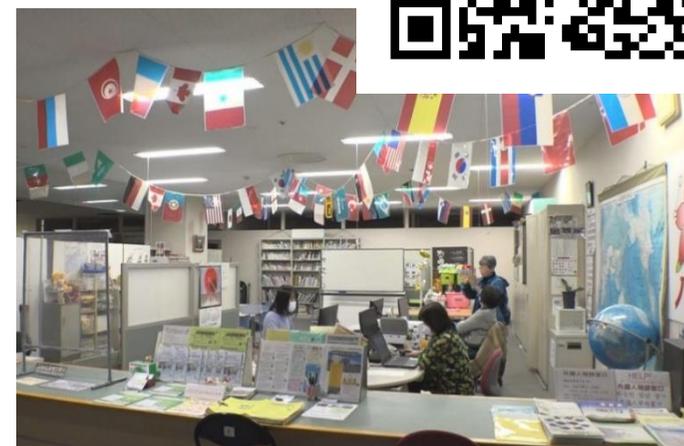
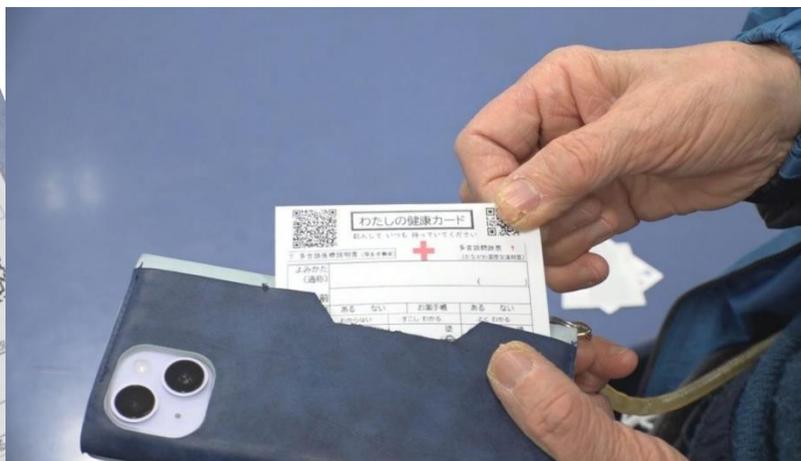




2024年1月30日(火) 18:30~ News Link

「わたしの健康カード」JCVで紹介



JCV(上越ケーブルテレビジョン)1月30日(火) 放映より抜粋

カードを作ったのは、外国人の通院などに付き添って通訳をしている上越国際交流協会(JOIN)のボランティアグループ「じょんなび」メンバーの倉辻厚子さんです。「心、文化、ことばの壁により外国人が医療機関にかかるのを遠ざけている。病院へ行き早く治療を受けられないかと思い作成」

上越市によりますと、市内に住んでいる外国人の数は昨年末現在およそ2200人です。

1月1日の能登半島地震では、日本人だけでなく外国人も避難所に身を寄せました。倉辻さんは、こうした災害時にけがをした場合、避難先で手当てを受けるときに、日本語をうまく話せなくてもカードを見せることで、問診表を記入する時間が短くなり治療をスムーズに受けることができると話します。また、ふだんの通院などにも役立つとして活用を呼びかけています。

「健康保険証と一緒に持って行ってほしい。『健康カードある?』その一言でアレルギーなどを回避できる。会話のきっかけになる。(周りに外国人がいたら)『JOIN 上越国際交流協会へ』と伝えてほしい」